

特集●過労死、過労自殺

過労死・自殺の予防対策の最近の動向	聖徳大学短期大学部介護福祉学科	上畑鉄之丞
雇用と労働の現場で何が起きているか	関西大学	森岡 孝二
今、職場で何が起きているか	川人法律事務所 川人 博	山下 敏雅
過重労働による慢性的な疲労・ストレス状態と循環器疾患	(財)労働科学研究所	前原 直樹
過重労働による睡眠障害と健康障害	(独)労働安全衛生総合研究所	高橋 正也
過重労働とうつ病、過労自殺	京都文教大学人間学部臨床心理学科	島 悟・高野 知樹
過重労働によるうつ病と過労自殺の実態—臨床の現場から—	メンタルクリニックみさと	天笠 崇
職場でのストレスの評価とその対策	東京医科大学公衆衛生学教室	下光 輝一
地域保健と産業保健との連携によるうつ病対策「自殺予防プロジェクト」	東京都西多摩保健所	中島 修・早川 和男

職場のストレスに対する環境改善の実践	関西福祉科学大学健康福祉学部	長見まき子
--------------------	----------------	-------

●視点

医療制度改革に伴う都道府県の役割と課題	岩手県保健福祉部保健福祉企画室	野原 勝
---------------------	-----------------	------

●新連載・レセプト情報を活かす

レセプト情報とは何か	東京大学大学院公衆衛生学	小林 康毅
------------	--------------	-------

あ と が き

今月の特集テーマは「メタボリックシンドローム—現状とその課題」でした。公衆衛生の立場から磯博康、岡山明の両先生に、臨床医学の立場から内臓脂肪細胞の生理活性物質研究の第一人者である松澤佑次先生にご解説をいただきました。

メタボリックシンドロームは、わが国の医療と保険制度に大きな波紋を投げかけています。国民病と言われたかつての結核対策は、研究者、医療者、保険者、保健行政、国民、企業、民間団体など社会をあげたものでありました。メタボリックシンドローム対策を目標とする疾病予防対策は、それに匹敵する社会をあげた対策の様相を呈してきています。

大島明先生は生活習慣病対策として、前進してきた禁煙支援活動が別枠とされていることに懸念を表明されてい

ます。次第に特定健診・保健指導の進め方について全貌が明らかになってきています。大きな変革なので残されている問題が多いものと思います。

今回の改革は医療保険者の位置づけが高められ、保険者の役割に大きな関心が向けられています。現実には疾病予防、健康管理、ケアにおける地域の医療者のあり方が問われていくものと思われます。日本医師会は「かかりつけ医」を提唱しています。平成18年12月に国民中央会の研究会により「かかりつけ医」制度を一步進めた体制強化が提言されているのは、その方向性の第一歩なのかもしれません。

すでに船は出航してしまっています。本特集を羅針盤としてお役立ていただき、乗船者が団結して安全航海を心がけて、目的港に到着したいものです。(高鳥毛敏雄)

公衆衛生(第71巻 第3号) 2007年3月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,415 円(本体 2,300 円+税 5%)(2007 年 年 ぎ め 予 約 購 読 料 28,200 円 ※ 配 送 料 弊 社 負 担)

発行：株式会社 医学書院 代表者 金原 優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

本誌編集室直通 TEL (03) 3817-5718 FAX (03) 3815-7802

販売部直通 TEL (03) 3817-5659・5660 FAX (03) 3815-7804

E-mail: koshu@igaku-shoin.co.jp 振替口座 00170-9-96693 番

印刷所：三美印刷(株) TEL (03) 3803-3131

広告申込所：(株)東広社 TEL (03) 3409-8803/デザイン：デザイン・プレイス

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

© 2007. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ **JCLIS** 《**日本著作出版権管理システム委託出版物**》

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつと事前に《日本著作出版権管理システム(03-3817-5670)》の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

・ 公衆衛生 URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/koshu/>

編集顧問

多田羅浩三 大阪大学名誉教授・放送大学教授

林 謙治 国立保健医療科学院

編集委員 (50 音順)

阿彦 忠之 山形県健康福祉部・衛生研究所

桜山 豊夫 東京都福祉保健局保健政策部

高鳥毛敏雄 大阪大学・社会環境医学

西田 茂樹 福島県衛生研究所

編集室通信

今月号の特集「メタボリックシンドローム」、いかがでしたか? 働く身としては、特集内の五十嵐論文に考えさせられました。保健師さんが企業の中にいてくれることは、社員の健康度アップに直結するのですね。保健師さんの先導で社員全体が体重を減らして、成果が数に現れています。わが社は産業保健師さんがいないので、羨ましい限りです。出版業界でも増えているメンタルヘルスの問題、長時間残業によるストレス、競争や毎日の忙しさに、心と健康をすり減らしていく... 一度立ち止まって、自分自身がしっかりと「働き方」を見つめ直す必要があることを痛感しています。まさに生活習慣病とは職業習慣病。国の対策も、そこまで踏み込む必要がありそうです。(野中)

(担当/野中・天野)